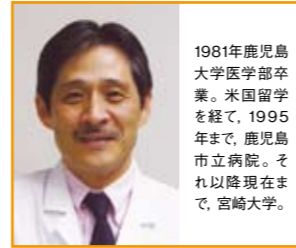


連載 声なき声を聴くために  
胎児心拍数モニタリング判読塾

宮崎大学医学部 産婦人科 教授 **鮫島 浩**



1981年鹿児島大学医学部卒業。米国留学を経て、1995年まで、鹿児島市立病院。それ以降現在まで、宮崎大学。

第11回

# 一過性徐脈の分類

## 声なき声を聴くには

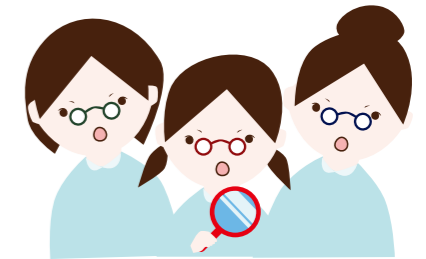
今回はポイントを先にまとめておきましょう。

- 1 一過性徐脈は、まず **一見して明らかなパターン** によって分類します (Hon の分類)。
- 2 数回の子宮収縮で起こるパターンを観察し、**ほぼ類似 (ユニフォーム)** か、**変動 (バリエブル)** かを判定します。
- 3 パターンがほぼ類似型なら、子宮収縮とのタイミングから **早発一過性徐脈** か **遅発一過性徐脈** かを判定します。

## 一過性徐脈を目で見えてパターン認識

今回は一過性徐脈のおおまかな分類と、どこに注目すべきかを学びます。

一過性徐脈は子宮収縮に伴って出現することが多いのですが、毎回、定規などをあてて判定するのではなく、**目で見えたパターン認識に基づいて判定**することが原則です。



## パターンが類似型か、変動型か

Honの原法では、子宮収縮の度にパターンを**ほぼ類似する形(ユニフォーム)**と、**その度に異なる形(バリエブル)**とに分類します(図1)。

類似型では、**子宮収縮の度にほぼ類似するだけでなく、子宮収縮の圧曲線と類似することも重要**です。図1Aに示すように、一過性徐脈の緩やかな下降曲線と、子宮収縮の上昇曲線とが類似した傾斜を示し、また、一過性徐脈からの回復も同様に緩やかで、多くは左右対称型で

す。「類似」といって、「同一」ではないことも大切です。持続時間や深さなどに多少の違いがあっても、**ほぼ類似していればよい**、というのがポイントです。

変動型では、図1Bのように、**子宮収縮の度に異なった形をとることが多く**、子宮収縮の圧曲線と比べると、**一過性徐脈の下降曲線が子宮収縮の上昇曲線よりも急峻**です。

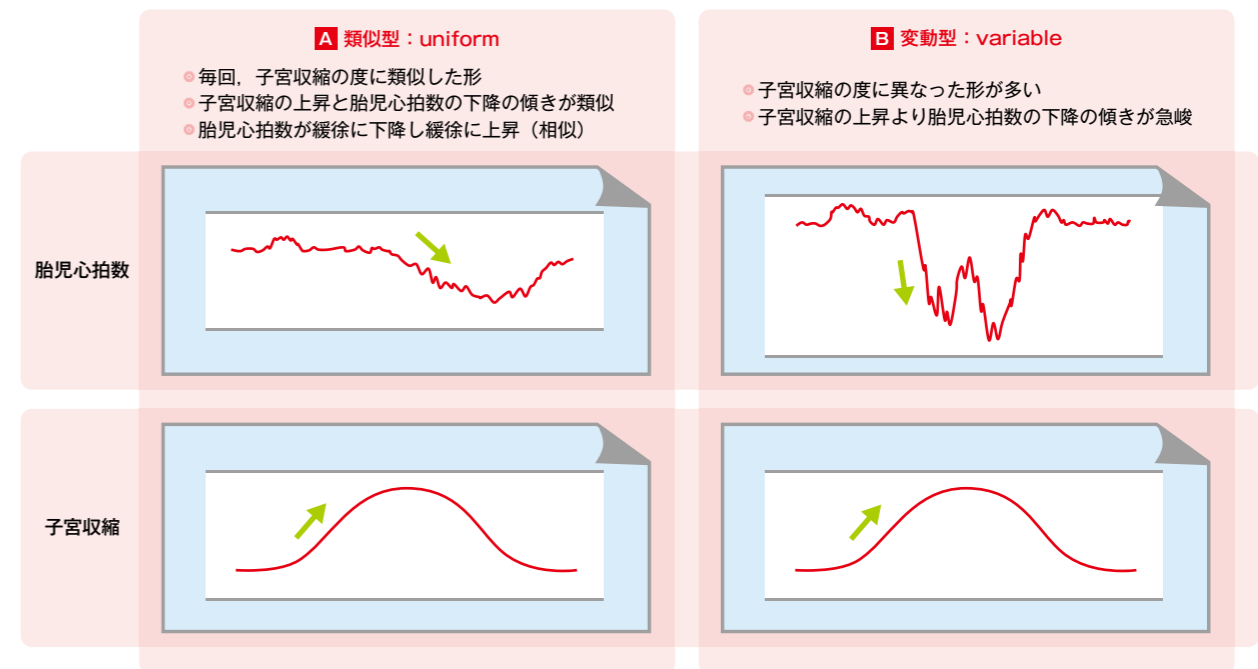


図1 ユニフォーム (ほぼ類似する型) とバリエブル (毎回変動する型)